

NEWS RELEASE

「Brilliant60s＝輝ける60代」2,000人に聞いた「シニアのリアル調査」結果より

「お盆玉」認知度41.5%と初の40%突破！新時代の孫消費事情

～平均額は男性6,300円、女性5,900円で前年に比べ男性が大きく増加～

株式会社あおぞら銀行（代表取締役社長兼最高経営責任者（CEO）：馬場信輔、本店：東京都千代田区）は、日本の60代を中心とするチャレンジ精神旺盛でアクティブな世代を「Brilliant60s＝輝ける60代」と名付け、ポジティブな人生をおくるサポートをすべく、シニア層のお客さまへの資産運用コンサルティングに注力しております。

あおぞら銀行では、このBrilliant60s世代に注目し、コアとなる全国の55～74歳の男女約2,000名を対象にした「シニアのリアル調査」を2014年から毎年実施しております。今年で6年目を迎えた最新の調査結果をお知らせいたします。

<調査結果概要（詳細は別紙のとおり）>

1. お盆のお小遣い「お盆玉」の認知度41.5%。調査開始の2016年から右肩上がりに上昇

～「お盆玉」平均額も6,100円で前年から300円増～

★「お盆玉」（※お盆の時期に、子や孫にあげるお小遣いのこと）という言葉を知っているシニアの割合は、2016年の調査開始時点では16.6%であったが、それ以降毎年上昇し、今年は41.5%と初めて4割を超えた。特に、女性の認知が47.3%と5割近く、メジャーな存在となってきている。

★今年「お盆玉」をあげる予定の人も43.2%（前年比9.7ポイント増）と4割を超え、その予定額の6,100円（前年比300円増）は過去最高。男女別では、男性6,300円（前年比500円増）、女性5,900円（前年同額）と、女性が男性を上回った前年とは、逆の結果となった。

2. 今どきシニア、4割以上が帰省してくる子や孫の交通費を負担

～負担する交通費は平均29,700円、帰省中の支援額は平均43,700円と、調査開始以降最低。～

★「帰省してくる子や孫がいる」と答えた割合は65.3%（前年比0.9ポイント増）。そのうち44.4%（前年比2.7%減）が「帰省にかかる交通費を負担している」と回答した。平均負担額は29,700円（前年比400円減）で、2014年の調査開始以降初めて、30,000円を下回り、2016年をピークに減り続けている。男女別では、男性は28,200円（前年比500円減）、女性は30,800円（前年比500円減）と、女性の負担額が男性より多かった。

★子や孫が帰省した際に使う金額（交通費以外）は平均43,700円（前年比800円減）で、男性は40,300円（前年比2,300円増）、女性は46,700円（前年比3,100円減）と、男性の負担額が増加したものの、依然として女性が6,400円多く負担している。

3. 子や孫と一緒に海外旅行に平均439,600円、前年に比べ5万円以上減

～海外旅行費用は、同行者に関わらず、すべて前年から減額傾向～

★海外旅行の費用について、「子供や孫との旅」は439,600円（「0円」の回答を除いた平均・以下同様／前年比53,300円減）であった。「子供や孫との旅」以外では、「一人旅」195,800円（前年比2,800円減）、「夫婦だけの旅」382,100円（前年比14,800円減）、「友人との旅」200,200円（前年比6,800円減）と、海外旅行費用は全て前年から減少した。

以上

あおぞら銀行「シニアのリアル調査」2019

【調査目的】

シニアの方々の暮らしぶり・老後の意識・資産運用・旅行や外食・趣味・お子さまやお孫さまについてなど、様々な視点からお金に関連する実態やその意識を調べる。

【調査対象者】

全国 55～74 歳の男女 合計 2,071 人

【調査内容】

インターネット調査 2019年6月7日（金）～2019年6月8日（土）実施

【金融資産背景】

当調査対象者の平均金融資産額：50代後半 1,687万円、60代 1,949万円、70代前半 1,932万円

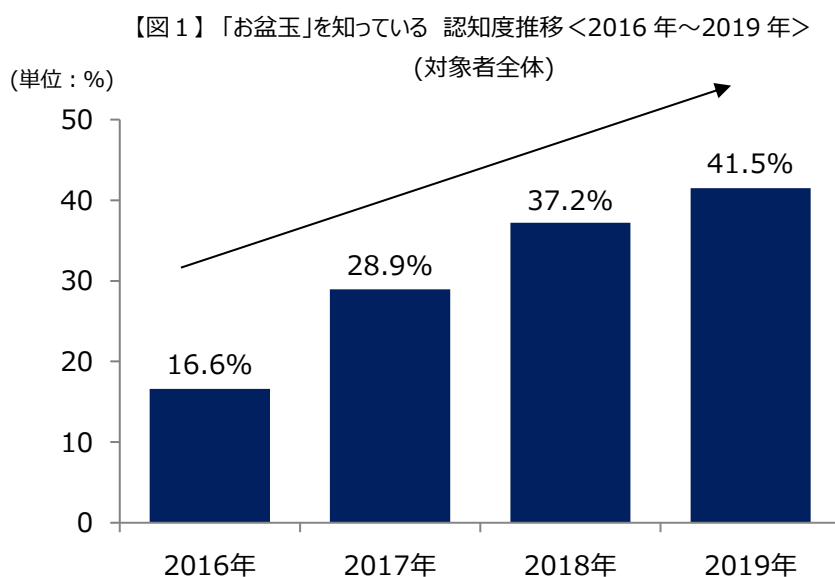
一般(二人以上の世帯)の平均金融資産額^(*)：50代 1,828万円、60代 2,415万円、70歳以上 2,565万円

(*)出典：2018年金融広報中央委員会「家計の金融行動に関する世論調査」調べ

<調査結果詳細>

1. お盆のお小遣い「お盆玉」の認知度 41.5%。調査開始の2016年から右肩上がりに上昇

質問：「お盆玉」という言葉を知っているか？

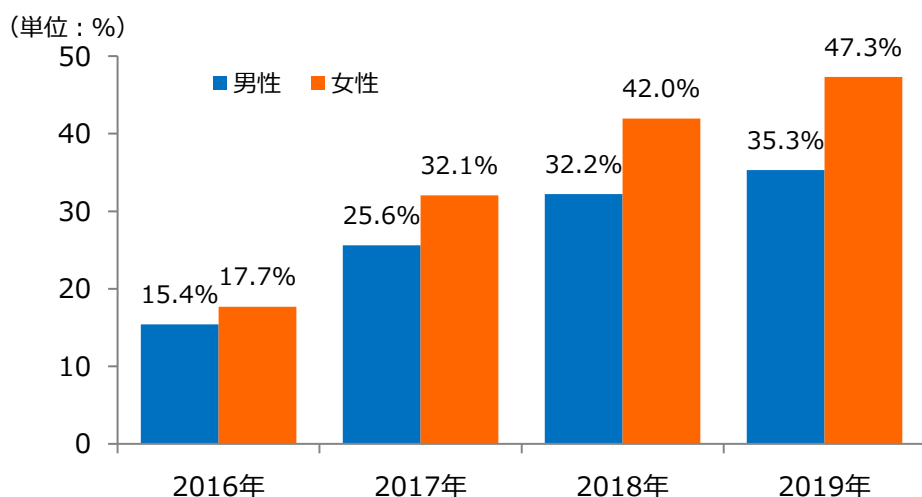


「お盆玉」（※お盆の時期に、子や孫にあげるお小遣いのこと）という言葉を知っているかの質問に、知っていると答えたのは 41.5%（男性 35.3%/女性 47.3%）と前年より 4.3 ポイント増加。2016 年の調査開始以降、毎年上昇しており、今年は 41.5%と初めて 4 割を超えた（【図1】参照）。

「『お盆玉』を知っていて、実際に『お盆玉』をあげたことがある」と答えたシニアは 7.7%で、「『お盆玉』という言葉は知らないが、お盆の時期に子や孫にお小遣いをあげたことがある」と答えたシニア 6.9%を含めると、今どきシニアの 14.6%が「お盆玉」をあげたことになる。

- ・「お盆玉」を知っている： **41.5%** 「知っている、あげたことがある + 知っているが、あげたことはない」
- ・「お盆玉」を知らない： **58.5%** 「知らないが、あげたことがある + 知らないし、あげたこともない」

【図2】「お盆玉」を知っている 認知度推移～男女比較 <2016年～2019年>

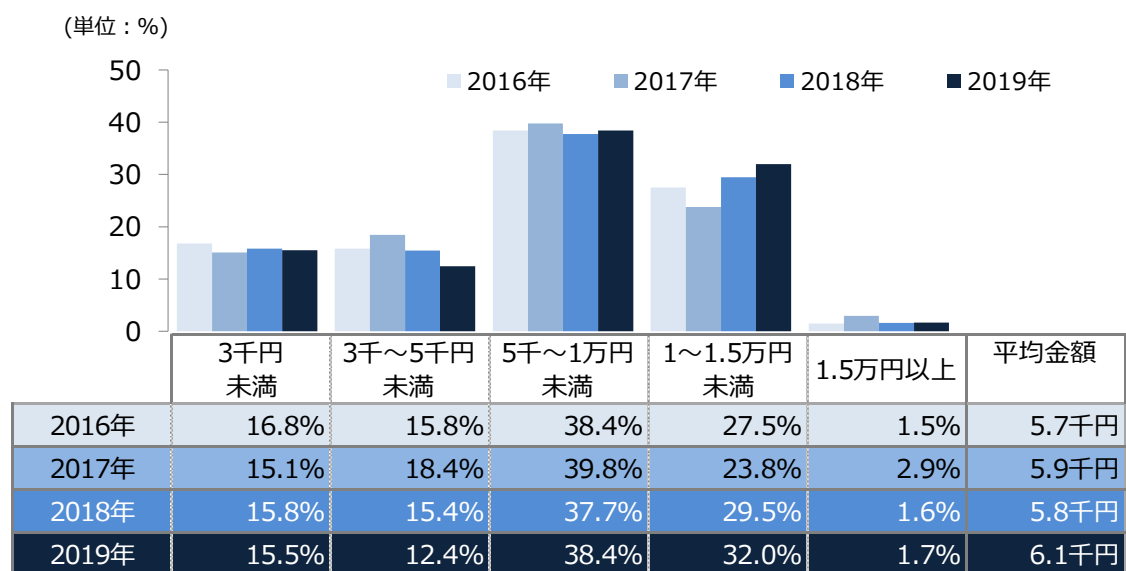


「男女別では、今年もこれまでと同じく女性シニアの認知度（47.3%）が男性シニア（35.3%）を上回り、その差が今年も12ポイントと更に広がった。（【図2】参照）。

～「お盆玉」をあげるシニアの平均額は6,100円。関東の方が関西に比べて400円高い～

質問：「お盆玉」をひとりあたり、いくらくらいあげる予定か？

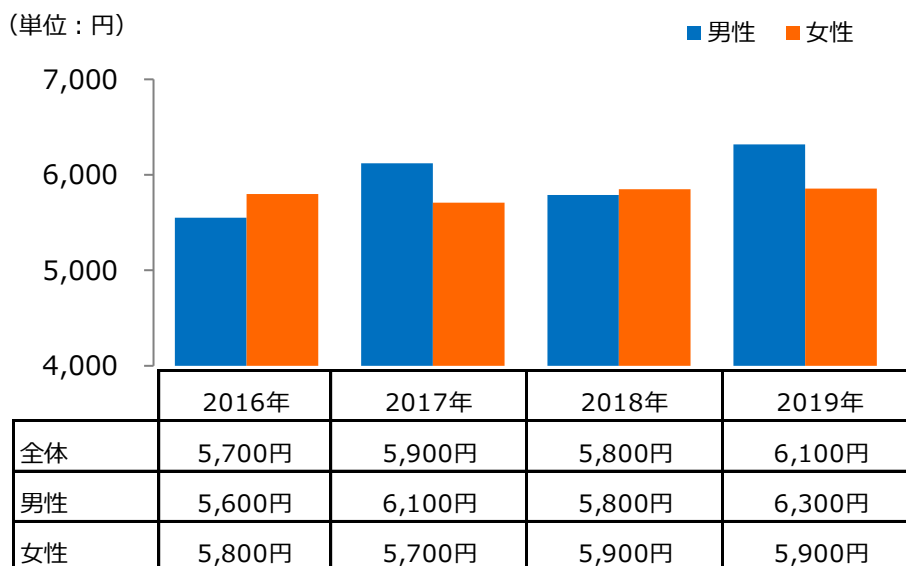
【図3】「お盆玉」の予定金額
(対象：子や孫がいるシニア/「0円」という回答を除いた平均金額)



※本調査結果の数字は少数第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合があります。

今年「お盆玉」をあげる予定の人は43.2%と前年から9.7ポイントも増加した。予定金額（子や孫がいるシニアを対象/「0円」という回答を除いた平均金額）は6,100円で前年の5,800円から300円増加した。金額の分布を見ると、前年同様「5千円～1万円未満」が38.4%と最も多く、「1万円～1.5万円未満」は前年より2.5ポイント増加の32.0%となった（【図3】参照）。

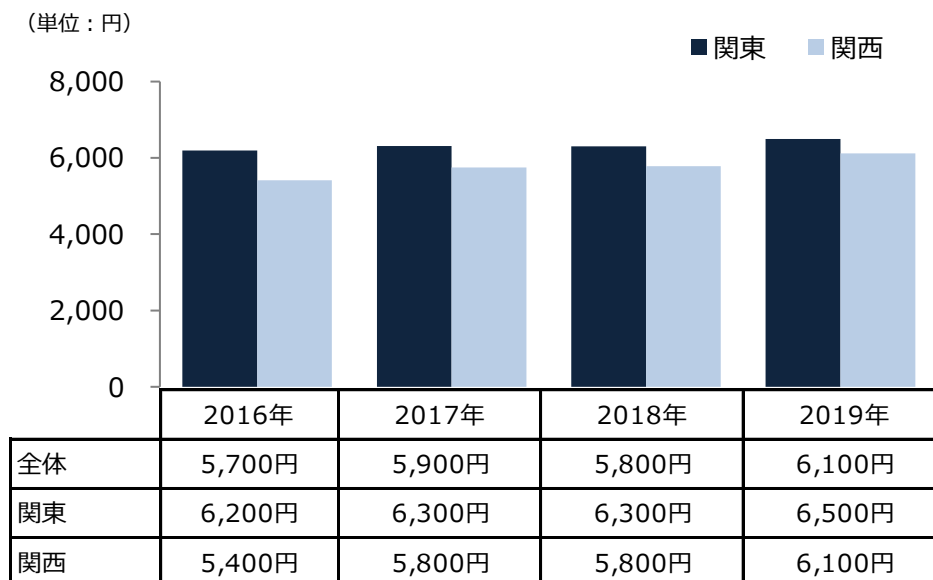
【図4】「お盆玉」の平均額推移～男女比較 <2016年～2019年>



「お盆玉」の平均額を男女で比べると、男性が前年の 5,800 円から 6,300 円に増額する一方、女性は前年の 5,900 円と同額で、調査開始からこれまでで男女差が最も開いた(【図4】参照)。

- ・**全体平均予算 (55 歳～74 歳) : 6,100 円 (前年比 300 円増)**
- ・**男性平均予算 (55 歳～74 歳) : 6,300 円 (前年比 500 円増)**
- ・**女性平均予算 (55 歳～74 歳) : 5,900 円 (前年同額)**

【図5】「お盆玉」の平均額推移～関東・関西比較 <2016年～2019年>



関東と関西を比べると、いずれも前年から増額。関東が関西より高い傾向が続いている(【図5】参照)。

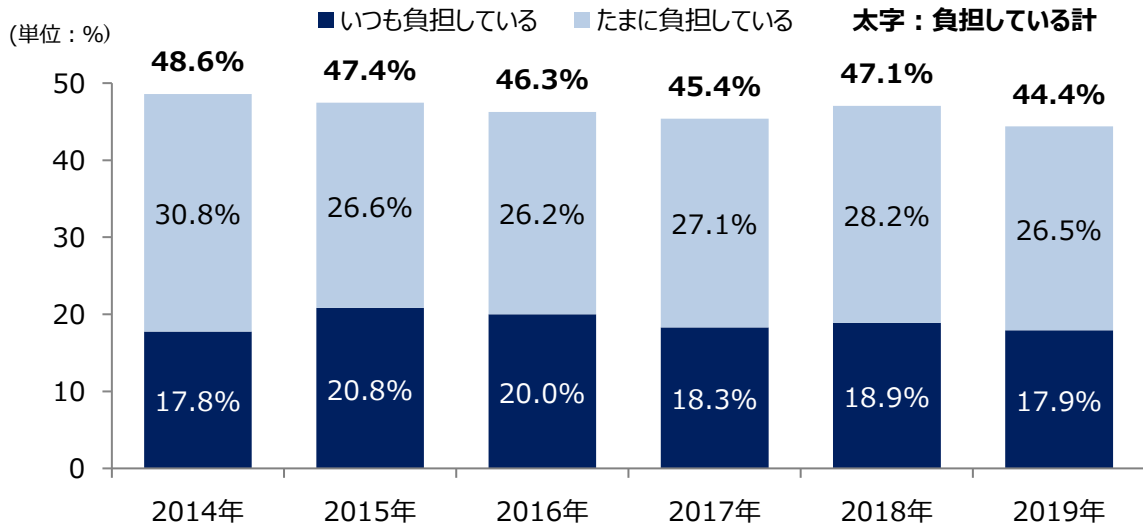
- ・**関東平均 (東京、神奈川、埼玉、千葉) : 6,500 円(前年比 200 円増)**
- ・**関西平均 (大阪、京都、兵庫、奈良) : 6,100 円(前年比 300 円増)**

2. 今どきシニア、4割以上が帰省してくる子や孫の交通費を負担

～負担する交通費は平均 29,700 円、帰省中の支援額（交通費以外）は平均 43,700 円～

質問：子や孫が帰省してくる時に交通費を負担しているか？

【図 6】「負担派」の推移 <2014 年～2019 年>
(対象：各年の帰省する子供・孫がいるシニア)



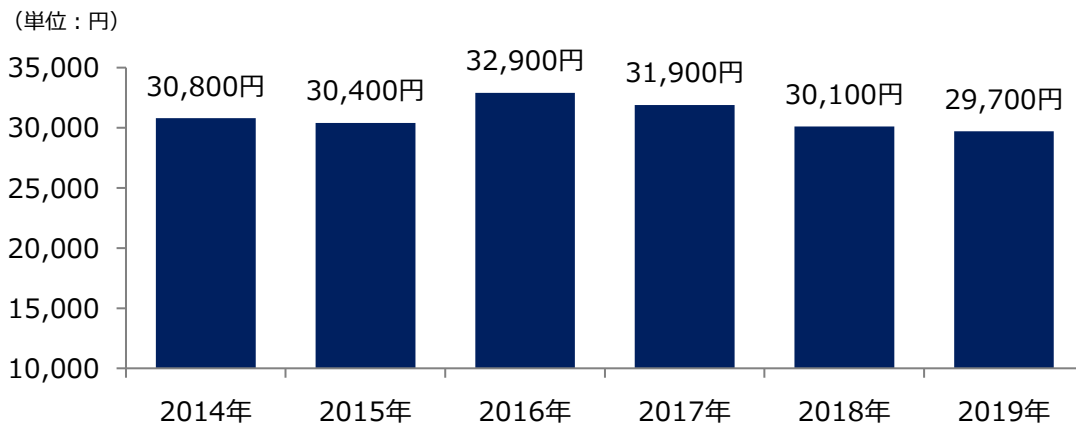
「帰省してくる子や孫がいる」と答えた割合は 65.3%（前年比 0.9 ポイント増）。そのうち、子や孫が帰省する時に交通費を負担している「負担派」シニアは 44.4%（前年比 2.7 ポイント減）と約 4 割が負担しているという結果になった。「負担派」の割合は調査開始以来最も低くなった。（【図 6】参照）。

- ・負担派 : **44.4%**（前年比 2.7 ポイント減） 「いつも負担している + たまに負担している」
- ・非負担派 : **55.6%**（前年比 2.7 ポイント増） 「負担していない」

～帰省の交通費「負担派シニア」の平均は 29,700 円。初めて 3 万円台を割る～

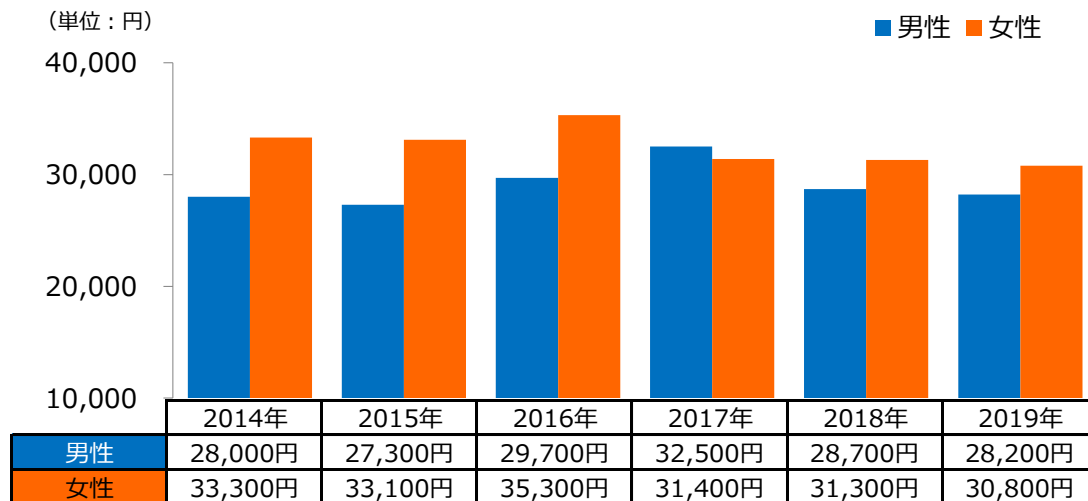
質問：子や孫の帰省時に交通費をいくら負担しているか？

【図 7】 帰省時に負担する交通費の金額推移 <2014 年～2019 年>



「負担派」シニアひとりあたり、子や孫が帰省する時に負担している交通費の平均は 29,700 円。前年の 30,100 円から 400 円減額し、調査を開始して初めて 30,000 円を下回った（【図 7】参照）。

【図 8】 帰省時に負担する交通費の男女別平均額推移 <2014 年～2019 年>



※調査結果の数字は四捨五入して 100 円単位にしているためグラフ表記と同一にならない場合があります。

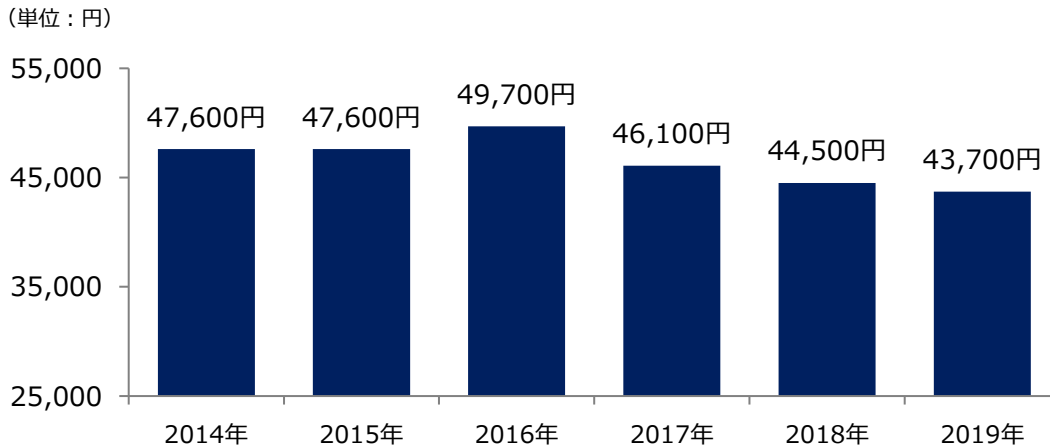
男女別では、男性の平均が 28,200 円に対し女性 30,800 円。前年に比べ男女とも同額減ったので、女性の方が男性よりも平均で 2,600 円多く負担している状況は前年と変わらなかった(【図 8】参照)。

- ・全体平均予算 : 29,700 円 (前年比 400 円減)
- ・男性平均予算 : 28,200 円 (前年比 500 円減)
- ・女性平均予算 : 30,800 円 (前年比 500 円減)

～帰省中も子や孫へは負担を惜しまないものの微減傾向。その額平均 43,700 円
前年に比べ男性は増額、女性は減額し男女差が縮まる～

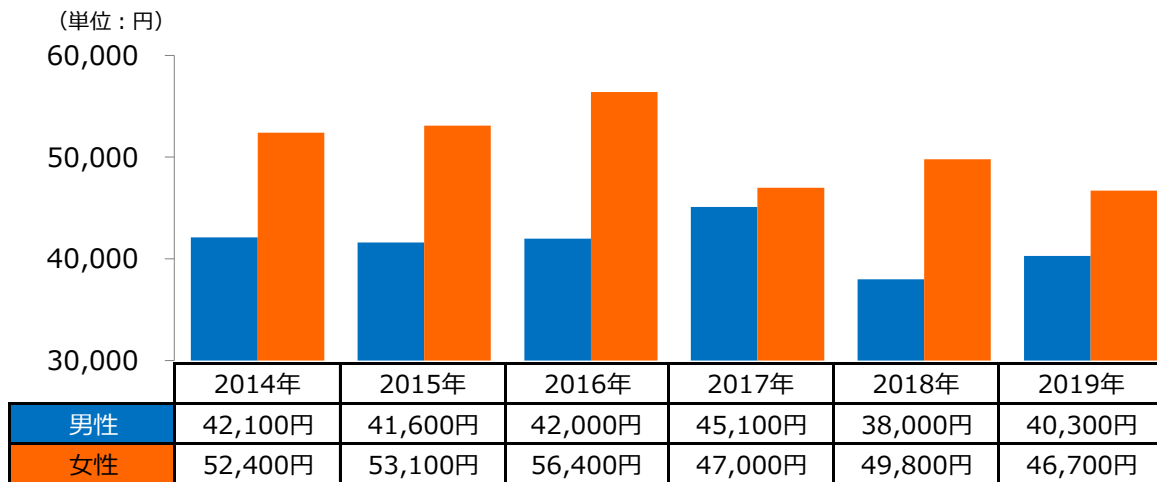
質問：子や孫の帰省時の交通費以外の負担額は？

【図 9】子や孫の帰省時に使う予算（交通費以外）の金額推移＜2014 年～2019 年＞
（対象：今年の子どもや孫が帰省するシニア）



「今年、子どもや孫が帰省するシニア」について、子や孫の帰省時に使う予算（交通費以外）は平均 43,700 円。前年から 800 円減少し、2016 年をピークに年々減少している（【図 9】参照）。

【図 10】子や孫の帰省時に使う予算（交通費以外）の男女別平均額推移＜2014 年～2018 年＞
（対象：今年の子どもや孫が帰省するシニア）



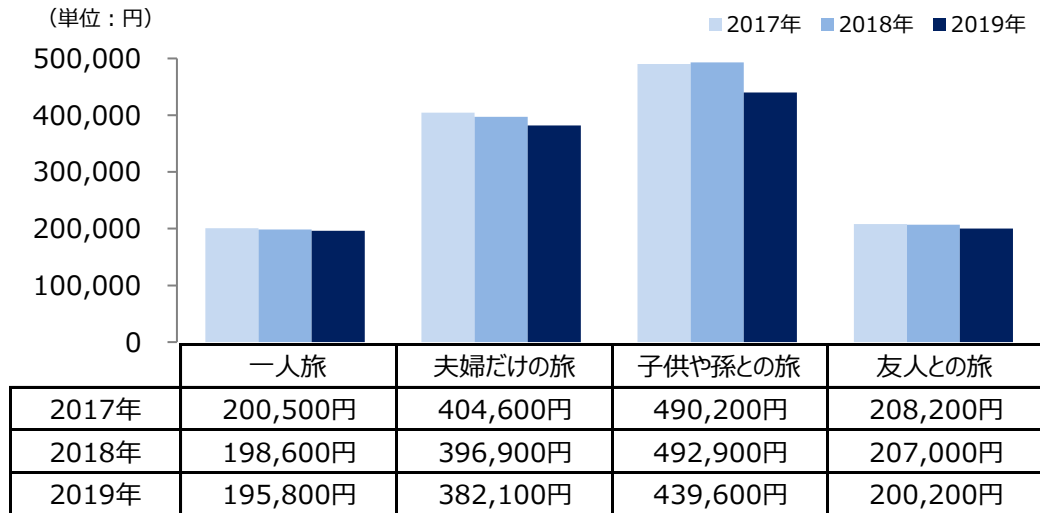
男女別では、男性が前年から 2,300 円増額した 40,300 円と 4 万円台に回復。一方女性は前年から 3,100 円低下し 46,700 円となったため、男女シニアの金額差は 6,400 円へと狭まった（【図 10】参照）。

- ・全体平均予算 : 43,700 円 (前年比 800 円減)
- ・男性平均予算 : 40,300 円 (前年比 2,300 円増)
- ・女性平均予算 : 46,700 円 (前年比 3,100 円減)

3. 子や孫と一緒に海外旅行に平均 439,600 円、前年に比べ 5 万円以上減 ～海外旅行費用は、同行者に関わらず、すべて前年から減額傾向～

質問：海外の旅行についてあなたが普段使う平均的な金額は？

【図 11】 海外旅行費用(平均金額)



海外旅行の費用について一緒に行く相手をタイプ別に聞いたところ、その平均金額は「子供や孫との旅」が 439,600 円と最も高いものの、前年から 53,300 円減額。「夫婦だけの旅」382,100 円(前年比 14,800 円減)、「友人との旅」200,200 円(前年比 6,800 円減)、「一人旅」195,800 円(前年比 2,800 円減)と、海外旅行の費用は全てのパターンで前年比減額となった(【図 11】参照)。

以上